

新トラック完成

五ヶ瀬町 総合公園 Gパーク陸上競技場

世界陸連認証の舗装材使用

五ヶ瀬町総合公園Gパーク陸上競技場でトラックの改修工事が終わり、24日に完成式があった。競技場の一般開放はきょうから。

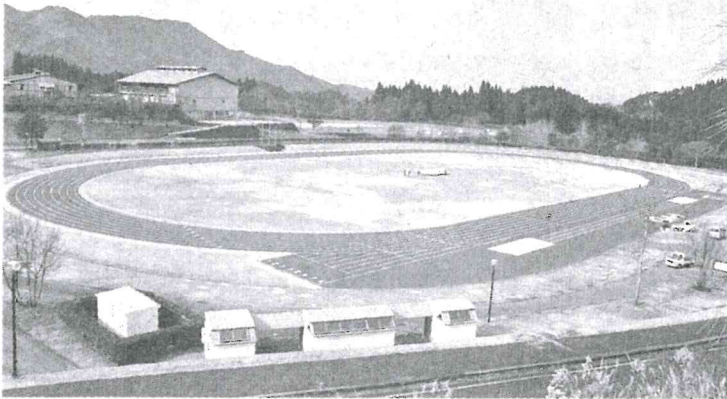
同競技場は1999年に完成。町内の陸上大会が開かれたり、県外などの実業団陸上部が合宿で練習してきたが整備から20年以上たつてトラック

の劣化などが見られ、町が今年7月末から工事を行ってきた。1周400mで赤から青色になった新トラックは全天候型で、町などに

よると世界陸連認証の舗装材を用いており、弾力性と柔軟性に富んでいるという。事業費は、スポーツ振興くじ（とちぎ）助成金事業なども含めて

2億3832万円。完成式には、同町の行政や工事関係者ら約20人が出席。神事が営まれ、原田俊平町長らが玉串を奉納した。

また、記念行事が行われて近くの五ヶ瀬中央保育所の年長児13人が50m走。他の園児や式典の出席者らが見守る中、真新しいトラックを駆け抜けた。行事後には、約50人の園児らがトラックを元気づく笑顔で一周した。原田町長は「町民のスポーツ振興や健康づくりの核となる施設。合宿の人もだいが増えると思う」と期待を寄せた。



トラックの改修が行われたGパークの陸上競技場



出席者が見守る中、新しいトラックを走る園児